

# 育ちと学びをつなぐ

新緑が目に見える季節から一挙に夏を感じる毎日になりました。入園、入学、進級から約2か月が経ち、子どもたちは新しい環境の中で、それぞれの力を発揮しながら自分らしく元気に過ごしていることと思います。



## 横浜版接続期カリキュラム平成29年度版発行

「横浜版接続期カリキュラム 育ちと学びをつなぐ」を改訂し各園・学校に送付しました。アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムを充実させ、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図ります。



## 第1回幼保小接続期研修会 鶴見小学校 スタートカリキュラム授業公開!

4月23日(月) 第1回接続期研修会を開催しました。午前は、スタートカリキュラムの授業公開、午後からは、文部科学省初等中等教育局 教科調査官 渋谷 一典 氏、幼児教育調査官 河合 優子 氏を講師に、シンポジウムと講演会を行いました。他都市を含め、多くの方に参会いただきました。

### アンケートから

- 遊びの中で折り合いながらルールを構築することが大切だと思った。
- 小学校に入学した子ども達がどのように学校生活を送っているのかを知るよい機会になった。
- 授業がカリキュラムにのっとっているだけでなく、先生方が工夫し愛情をもって取り組んでいると思った。このような現状を知り、安心して小学校へ子ども達を送り出すことができると思い、これまで以上に小学校や近隣園との関わりを深めていきたい。
- 園で遊んだことや学んだことを小学校でも取り組むことで、子ども達が自主的に行動している姿が目立った。また、一つひとつの学習がぶつ切りでなく関連していることで、子ども達が興味をもって取り組んでいる事を知った。
- 机の配置、分かり易い掲示物、先生方のきめ細やかな配慮で子ども達は自主的に生き生きと活動していた。
- 園で行っているような遊びを取り入れたなかよしタイムから始まり、わくわくタイムへ、そして着席して行うぐんぐんタイムへと子ども達の活動が自然に流れていくことに感動した。
- 園で培った力を1年生の先生方が理解し、一人ひとりの子どもを温かく受け入れる姿勢が入学してきた子ども達を安心させたのだと思った。子どもができてい部分については、温かく見守り、身に付けていきたいことは、丁寧に声掛けをする様子など、まさに0からのスタートではなく、幼児期の教育を生かして学びをつなぐ姿が見られた
- 教材、環境、授業内容など、先生方の工夫が分かる。学校探検でも子ども達の疑問や困ったことから出発し、取り組んでいると感じた。

<講演>

「幼児期に育ってほしい姿」 文部科学省初等中等教育局 幼児教育調査官 河合 優子氏

「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 渋谷 一典氏

研究会・シンポジウムから

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、5領域に基づいて指導をしていると10の姿がうかび上がってきます。到達すべき目標ではないこと、個別に取り出して指導するものではないことに十分留意する必要があります。
- 幼保小の連携は、事例を基に、子どもの育ちについて話し合うとよいです。子ども観の共有は、イベントの交流だけでなく育ちを知ることが大切です。
- 10の姿の解釈をしっかりとちましましょう。  
アプローチカリキュラムで、園ではスキルのなことに目が行きがちで、学校では、「こんなことはできるようになって入学してほしい。」となりがちです。
- 幼児期での協同性などのルールづくりは、プロセスの中で葛藤をよい機会をとらえて指導するとよいです。すぐに「ごめんなさい。」と言わずに、もどかしい思いを大切に自発的に折り合いをつけて謝るようにします。

1校時 なかよしタイムは、朝の歌と体操、そうだんゲーム、外遊び等をたっぷり楽しみました。



保育園の先生に、できるようになった鉄棒の技を見せていました。先生からの、賞賛の言葉が聞けて、満足した表情を見せていました。

2校時 わくわくタイム がっこうたんけん

3・4校時 ぐんぐんタイム 図工



「切ってつなげてチヨキチヨキランド」  
作品を広げたり、つなげたりして友達に思いや考えを伝えました。



「プールの水は、どうして緑色をしているのかを理科担当の先生に聞いていました。初めての理科室で、緊張していました。」

給食 自分たちで協力して配膳をしていました。手順を全員が理解して一人ひとりが役割をしっかりと果たしていました。



## 幼保小連携推進地区事業 36地区 115園校で推進

### 推進地区事業とは

幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続と双方の保育・教育の充実を目指し、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校等が協働で連携や接続の推進に取り組み、その研究成果を幼児教育及び小学校教育に反映させることを目的に実施しています。



港北区北綱島地区  
園児児童交流の一コマ

30年度推進地区:別紙一覧を御覧ください。

各地区では、テーマに基づき、3年間にわたる研究を推進しその成果を発信しています。29年度事業報告は保育・教育人材課のホームページに掲載しています。また、29年度の取組をまとめた各地区のポスターを市庁舎1階市民広間に展示します(7月2日~13日)



## 幼保小連携研修予定等

期 日	研 修 名	会 場
7月24日(火) 午後	幼保小教育連携研修会(全体会) 白梅学園大学大学院 特任教授 無藤 隆 先生	新都市ホール (横浜そごう9F)
7月25日(水) 午後	幼保小教育連携研修会(分科会) 午前 3分科会 午後 3分科会	ウィリング横浜
10月25日(木) 午後	第2回 幼保小接続期研修会 横浜市戸塚地域療育センター ぴーす東戸塚園長 中村 泉 先生	神奈川公会堂
12月15日(土) 午後	幼保小連携フォーラム 國學院大学 教授 田村 学 先生 幼保小連携推進地区(2年目3年目地区)ポスター発表	鶴見区民文化センター サルビアホール
3月27日(水) 二部制	スタートカリキュラム研修会(対象:小学校教諭)	花咲研修室
7月2日(月)~13日(金)	2年目・3年目推進地区 ポスター展示	市庁舎1階 市民広間

★各研修の案内や幼保小連携担当で発行する冊子等は、対象となる園・校に送付すると同時に、こども青少年局保育・教育人材課のホームページにも随時掲載していきます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/jinzai/>

★横浜版接続期カリキュラムは、市庁舎1階刊行物サービスコーナーで購入できます。

¥500円/冊 問合せ先 TEL 671-3600

★教育委員会授業改善支援センター(ハマ・アップ)では、幼稚園教諭や保育士の皆様も利用できる事業を展開しています。夜間講座の開催や、教育関連図書・映像の閲覧等教育情報の提供も実施しています。是非、ハマ・アップのホームページを検索していただきたいと思います。

<http://www.edu.city.yokohama.jp/tr/ky/hamaup/theme04/hamaup.htm>